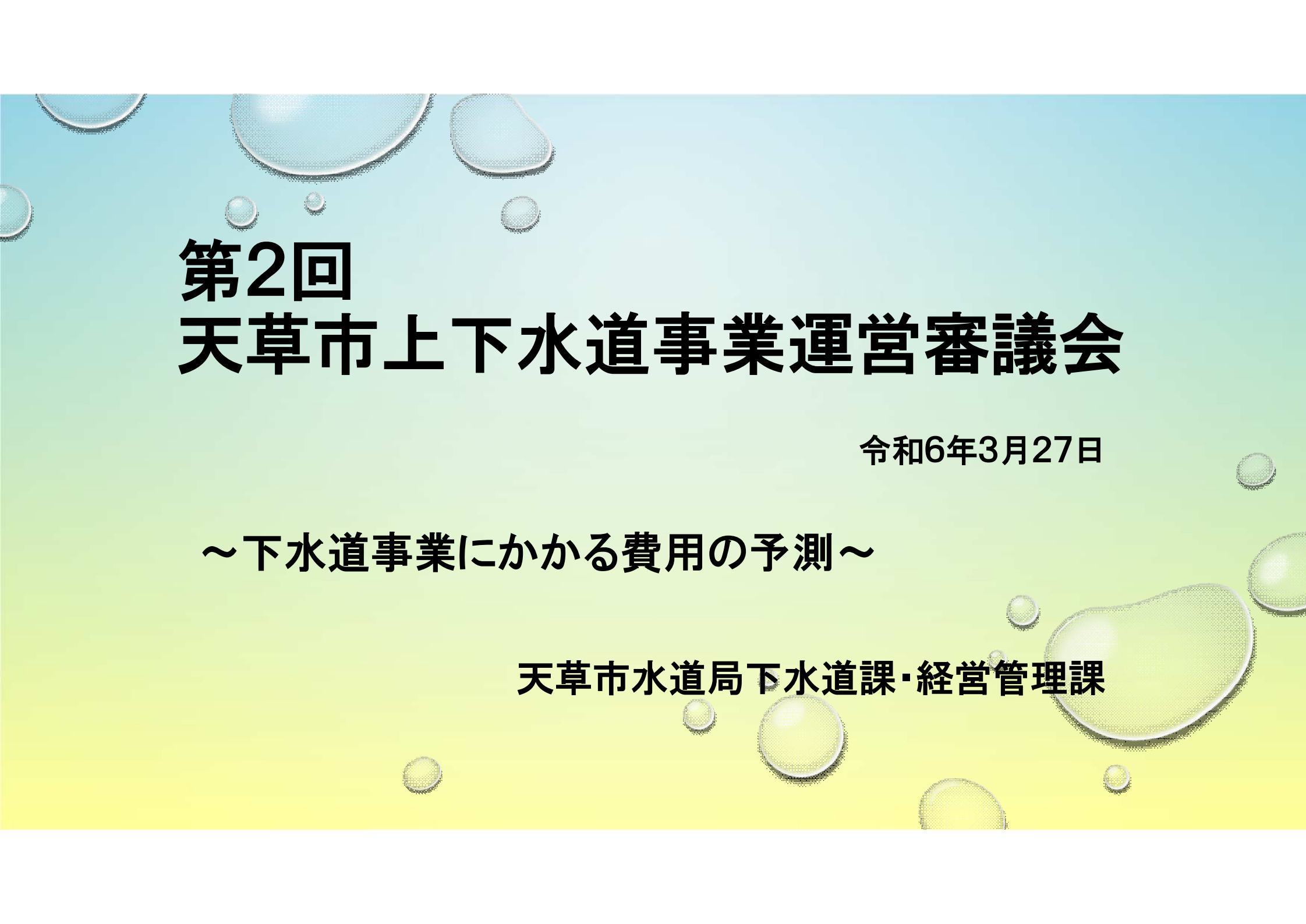




第2回 天草市上下水道事業運営審議会

令和6年3月27日

～下水道事業にかかる費用の予測～

天草市水道局下水道課・経営管理課

第2回審議会の説明内容

～下水道事業にかかる費用の予測～

1. 下水道事業の種類と現状

- 2. 下水道施設の改築・更新計画
- 3. 下水道事業の維持管理経費

1. 下水道事業の種類と現状

・天草市には、次の12の汚水処理施設があります。

(公共下水道施設)	供用開始
本渡浄化センター	S53
(特定環境保全公共下水道施設)	供用開始
下田浄化センター	H13
高浜浄化センター	H23
一町田浄化センター	H13
(漁業集落排水処理施設)	供用開始
佐伊津浄化センター	H21
本郷(御所浦)排水処理施設	S59
宮田浄化センター	H12
通詞島排水処理施設	H14
崎津浄化センター	H16
船津(宮野河内)排水処理施設	H20
(農業集落排水処理施設)	供用開始
棚底地区排水処理施設	H10
新町(倉岳町浦)排水処理施設	H18



●水洗化率
天草市全体 67.2%
処理区域内 90.5%

●管路延長 419km
(汚水 269km)
(雨水 150km)

1. 下水道事業の種類と施設の現状

【処理区と処理施設】 4事業 12処理区 26施設を管理しています。

これらの施設を使い続けていくため、改築の最適化を図ることが重要。

(公共下水道) 12施設

①本渡浄化センター

②今釜新町ポンプ場

③広瀬雨水ポンプ場

④浄南雨水ポンプ場

⑤浜田雨水ポンプ場

⑥瀬戸雨水ポンプ場

⑦大川尻雨水ポンプ場

⑧亀川汚水中継ポンプ場

⑨広瀬汚水中継ポンプ場

⑩瀬戸汚水中継ポンプ場

⑪浜田汚水中継ポンプ場

⑫茂木根汚水中継ポンプ場

(特定環境保全公共下水道) 4施設

①下田浄化センター

②高浜浄化センター

③一町田浄化センター

④一町田雨水ポンプ場



③広瀬雨水ポンプ場

(漁業集落排水処理施設) 8施設

①佐伊津浄化センター

②本郷(御所浦)排水処理施設

③宮田浄化センター

④通詞島排水処理施設

⑤崎津浄化センター

⑥船津(宮野河内)排水処理施設

⑦佐伊津雨水ポンプ場

⑧浜洲雨水ポンプ場

(農業集落排水処理施設) 2施設

①棚底地区排水処理施設

②新町(倉岳町浦)排水処理施設



④通詞島排水処理施設

※この他に、管渠施設としてマンホールポンプ場198箇所を管理している

第2回審議会の説明内容

～下水道事業にかかる費用の予測～

1. 下水道事業の種類と現状

2. 下水道施設の改築・更新計画

3. 下水道事業の維持管理経費

2. 下水道施設の改築・更新計画

そこで! 長寿命化を図るため、優先順位を決めて改築・更新計画を進めています。

優先順位の考え方

建設からの経過年数、処理人口が多い、市民の財産に関わる、緊急度が高いものから優先的に行っている。

公共下水道事業は、ストックマネジメント計画(長寿命化計画)を策定して実施

1. ポンプ場(雨水4施設、汚水中継3施設)

頻発する豪雨による浸水被害を防ぐため雨水ポンプ場の改築・更新を実施

2. 処理場(6施設)

老朽化した処理施設の改築・更新を進める。 ※国庫補助を受けるためには耐震・耐水化が要件

3. 管路施設(污水管約130kmの内、緊急度が高い約0.29kmを計画)

今後、緊急度の高い老朽管路の更生を進めていく計画

※令和5年度に特定環境保全公共下水道の計画を策定

2. 下水道施設の改築・更新計画

【全体計画と種類別の概算費用】

(単位: 千円)											
事業種別	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R5～14計
公共下水道	502,480	435,156	213,500	515,000	535,000	556,000	570,000	560,000	515,000	550,000	4,952,136
特定環境保全公共下水道	41,480	22,080	314,000	49,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	480,560
漁業集落排水施設	122,330	69,421	66,000	34,000	22,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	368,751
農業集落排水施設	700	920	9,000	9,000	76,000	21,200	2,000	2,000	2,000	2,000	124,820
合計	666,990	527,577	602,500	607,000	642,000	597,200	592,000	582,000	537,000	572,000	5,926,267

移動脱水車更新 160,000千円
高浜膜分離施設更新 40,000千円

管渠更生(R7～R14) 1,290,000千円

耐震診断(R5～R11) 102,000千円

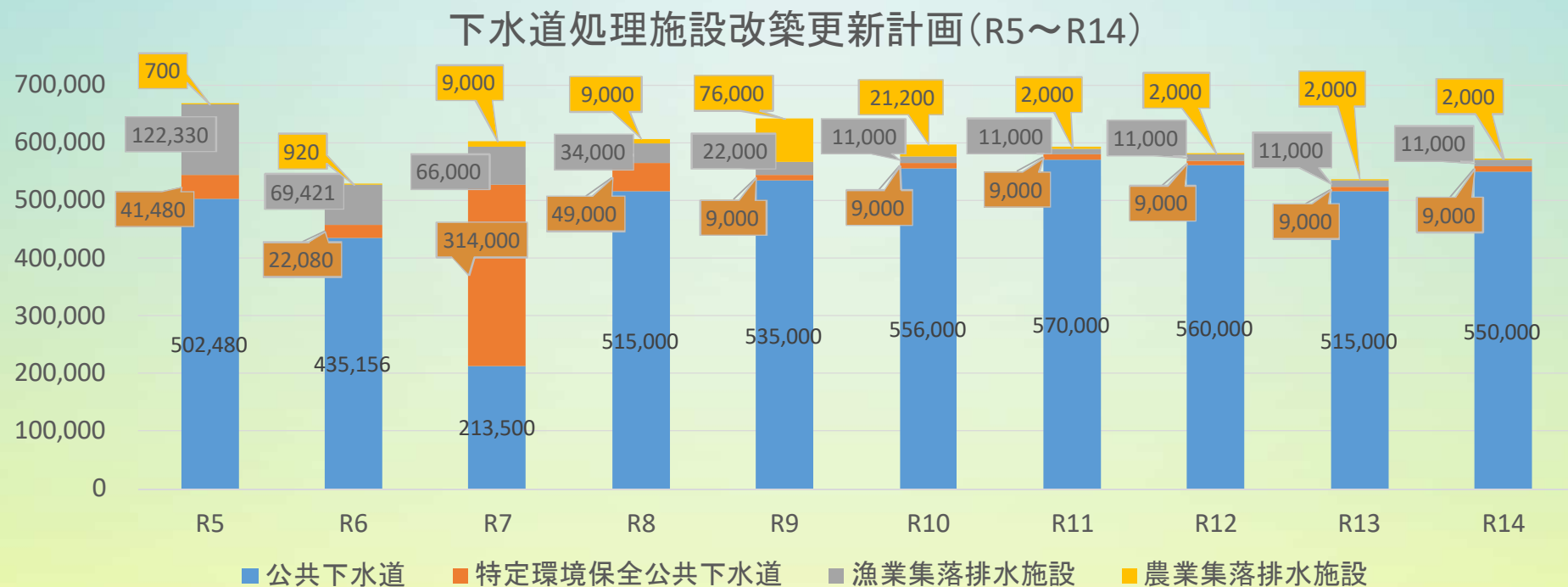
雨水ポンプ施設(R5～R7) 1,314,000千円

汚泥処理施設(R8～R10) 781,000千円

※ 今後10年間で60億円ほどの建設改良費となる。(耐震改修工事は含まない)

2. 下水道施設の改築・更新計画

【年度毎の建設改良費の概算費用】

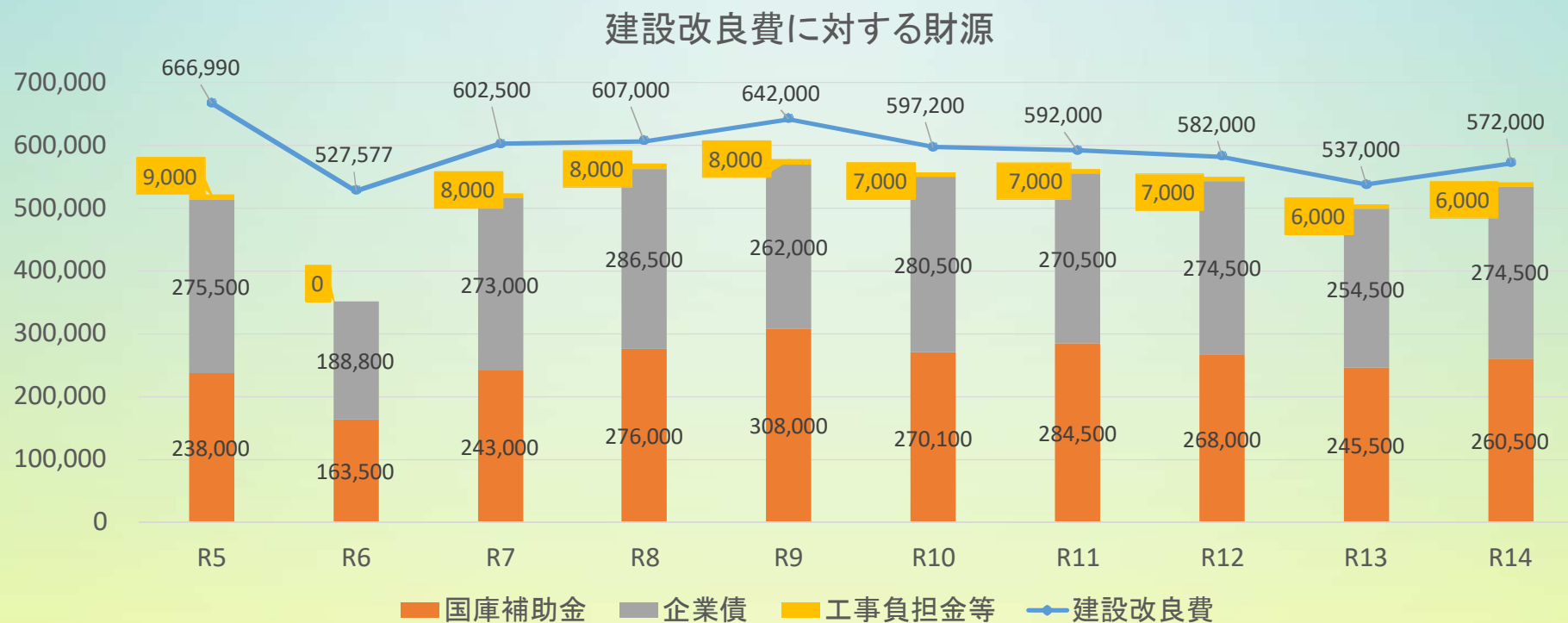


ストックマネジメント計画による改築・更新のタイミングは、耐用年数の1.7倍超過した時期を基本として策定。

※機能不全となり緊急性が高くなれば、実施時期をその都度見直す。

2. 下水道施設の改築・更新計画

【年度毎の建設改良費に対する財源】



可能な限り、国庫補助事業として整備を進める計画としている。

※国庫補助の対象となるには、管渠施設は緊急度が高いもの、ポンプ施設は健全度が低いものなど条件がある。

第2回審議会の説明内容

～下水道事業にかかる費用の予測～

1. 下水道事業の種類と現状
2. 下水道施設の改築・更新計画

3. 下水道事業の維持管理経費

3. 下水道事業の維持管理経費

維持管理経費と収益

